

## 第9期千葉県生涯学習審議会第5回会議及び

## 平成25年度第1回千葉県社会教育委員会議

# 配布資料一覧

### 報告資料

- (1) 平成25年度千葉県社会教育施策について
- (2) 「親の学びプログラム」活用事業について
  - ・「親の学びプログラム」活用事業の全体イメージ  
～つながる・育つ・広がる～
  - ・プログラム例 すごろくトーク〔食育編〕
  - ・プログラム例 すごろくトーク〔食育編〕すごろくシート

### 議事資料

- (1) 平成25年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について
  - ・平成25年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について（諮問）
  - ・平成25年度社会教育関係団体に対する補助金について（案）
  - ・社会教育法抜粋

#### ○別添資料

平成25年度社会教育関係団体補助金交付申請に関する資料

- (2) 県立青少年教育施設の今後の在り方について

#### ○別添資料

- ・「県立青少年教育施設の今後の在り方」検討資料
- ・「県立青少年教育施設の今後の在り方」検討の経緯（概要）

### その他資料

- 会議次第
- 千葉県生涯学習審議会委員・千葉県社会教育委員名簿
- 座席表

第9期千葉県生涯学習審議会第5回会議及び  
平成25年度第1回千葉県社会教育委員会会議 次第

日時：平成25年7月3日（水）  
午後2時30分から3時45分  
会場：千葉県立東金青年の家

1 開 会

2 あいさつ

- (1) 重栖教育振興部長
- (2) 福留生涯学習審議会長・社会教育委員会会議議長

3 報 告

- (1) 平成25年度千葉県社会教育施策について
- (2) 「親の学びプログラム」活用事業について

4 議 事

- (1) 平成25年度社会教育関係団体への補助金の交付について
- (2) 県立青少年教育施設の今後の在り方について
- (3) その他

5 諸 連 絡

6 閉 会

## 第9期千葉県生涯学習審議会委員・千葉県社会教育委員名簿

[任期：平成23年11月19日～平成25年11月18日]

	氏名	所属等
1	あかだ やすひで 赤田 靖英	千葉日報社取締役会長
2	きん てっひこ 金 哲彦	NPO法人ニッポンランナーズ理事長
3	くろさわ ますみ 黒澤 真澄	白井市立図書館長
4	さかい まきこ 坂井 麻貴子	元千葉県PTA連絡協議会理事
5	さくま あつこ 佐久間 敦子	千葉県立松戸向陽高等学校長
6	しゅぜんじ こういち 朱膳寺 宏一	千葉県公民館連絡協議会顧問
7	せき りょう 関 亮	前香取市教育委員会教育長
8	たかだ えつこ 高田 悦子	特定非営利活動法人子どもネット八千代理事長
9	たなべ みつこ 田邊 光子	鎌ヶ谷市立道野辺小学校長
10	ふくどめ つよし 福留 強	聖徳大学生涯学習研究所長

【五十音順 敬称略】

# 第9期千葉県生涯学習審議会第5回会議及び 平成25年度第1回千葉県社会教育委員会議席表

期 日:平成25年7月3日(水)

会 場:東金青年の家

関副会長

○

福留会長

○

佐久間副会長

○

	M	
--	---	--

黒澤委員 ○


朱膳寺委員 ○

○ 高田委員


○ 田邊委員

(進行M)

--	--	--

生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	教育委員会	中央図書館	県民プラザ
奥山	田村	黒川	重栖	葉山	森本
室長	室長	課長	振興部長	館長	所長

--	--	--

生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課
矢部	遠山	大木	鈴木大	佐粧	鈴木圭
班長	社教主事	主査	主査	社教主事	社教主事

--	--	--

生涯学習課	生涯学習課	生涯学習課
鶴岡	高蝶	小泉弘
班長	社教主事	社教主事

傍聴者・報道関係者
-----------

# 報告資料

(1) 平成25年度千葉県社会教育施策について

(2) 「親の学びプログラム」活用事業について

- ・「親の学びプログラム」活用事業の全体イメージ

～つながる・育つ・広がる～

- ・プログラム例 すごろくトーク〔食育編〕

- ・プログラム例 すごろくトーク〔食育編〕 すごろくシート

平成25年度 千葉県社会教育施策（生涯学習課）

主要事業名	事業の内容
<p>学校を核とした 県内1000か所ミニ集会</p>	<p>地域住民の声を学校運営に生かす開かれた学校づくりや地域コミュニティの構築を目的として、原則として、県内全ての公立小・中・高・特別支援学校を会場に、学校職員と保護者や地域住民とが学校・家庭・地域の様々な教育課題について、膝を交えて本音で語り合うミニ集会の取組を推進します。</p>
<p>地域とともに歩む 学校づくり推進支援事業 (学校支援地域本部事業) 12,300千円</p>	<p>小・中学校と地域が連携して、地域コミュニティを構築し、地域の子どもたちを地域で育てていくため、中学校区に学校と地域を結ぶコーディネーターを配置し、学習支援や環境整備、登下校の見守りなど、学校を支援する体制づくりを推進します。 ※国庫補助事業（国1/3、県1/3、市町村1/3）</p>
<p>放課後子ども教室推進事業 61,900千円</p>	<p>すべての子どもを対象として、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、安全に配慮しながら、地域住民の参画を得て、勉強やスポーツ、地域住民との交流活動等に取り組むなど、心豊かで健やかな子どもの育成を目指します。 ※国庫補助事業（国1/3、県1/3、市町村1/3）</p>
<p>県立学校における 「開かれた学校づくり委員会」 設置事業 5,753千円</p>	<p>地域の住民や保護者などを委員とした「開かれた学校づくり委員会」を学校運営協議会設置校を除く全ての県立学校に設置し、学校の自己評価をもとに学校関係者評価を行い、学校運営上の課題を解決する方策等を検討するなど、地域に開かれた学校づくりを推進します。</p>
<p>県立学校の開放の推進 4,115千円</p>	<p>県民の多様な生涯学習のニーズにこたえ、学習の機会の拡充を図るとともに、開かれた学校づくりを進めるため、学校施設や教育機能の開放を推進します。 ・ 県立学校開放講座 ・ 県立学校施設開放事業 ・ 県立学校教室等開放事業</p>
<p>県立学校における 「コミュニティ・スクール」 設置事業 350千円</p>	<p>保護者や地域住民が、学校運営協議会を通じて、一定の権限と責任を持って学校運営に参画し、より良い教育の実現とともに、地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりを目指します。</p>
<p>コミュニティ・スクール実 践研究事業 450千円</p>	<p>コミュニティ・スクールの導入及び強化を図るため、これからコミュニティ・スクールを導入しようとする学校の実情に応じた制度運用の方策を研究するとともに、コミュニティ・スクールの課題を解決し、実効性を高めるための具体的方策を実践研究します。</p>
<p>家庭教育支援事業 3,200千円</p>	<p>1 親の学びプログラム活用事業 親としての役割や子どもの発達段階に応じたかかわり方等を学べるプログラムの作成とその活用方法等の研究を行い、親の学習機会の充実を目指します。 ※国庫補助事業（国1/3、県2/3）</p>

主要事業名	事業の内容
<p>「親力アップいきいき子育て広場」事業</p> <p>「家庭教育支援団体データベース」事業</p> <p>「学校から発信する家庭教育支援プログラム」活用推進事業</p> <p>「ちば家庭・学校・地域応援企業等登録制度」</p> <p>企業等での社会体験活動 (キャリア教育推進事業) 3,034千円</p>	<p>2 家庭教育啓発事業 家庭教育及び子育てに関して、学校・家庭・地域社会が一体となった支援の在り方や課題を話し合い、家庭教育の充実を図ります。</p> <p style="text-align: right;">※国庫補助事業（国1/3、県2/3）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭教育推進委員会</li> <li>・ 家庭教育懇談会</li> <li>・ 家庭教育支援講座</li> <li>・ 家庭教育支援研究協議会</li> </ul> <p>3 市町村家庭教育支援事業 市町村の家庭教育支援関係者の知識・技術の習得及び資質の向上を図るとともに、関係機関・関係者のネットワークを構築し、家庭教育支援体制の強化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭教育相談員等ネットワーク推進協議会</li> <li>・ 市町村相談員等のための家庭教育研修講座</li> </ul> <p>4 親力向上支援事業 基本的な生活習慣や親子のコミュニケーションなど家庭教育のポイントをまとめたリーフレットを、3歳児健診、小・中学校の入学式等に配布し、すべての家庭の教育力向上を図ります。</p> <p>子どもの発達段階に応じた生活習慣やしつけなど、家庭教育に関する手立てや知識等の情報を掲載したホームページの充実により、個々の家庭の教育力向上を図ります。</p> <p>家庭教育や子育てを支援している団体をホームページで紹介し、個々の家庭の家庭教育支援や親の学習機会の充実を図ります。</p> <p>保護者向けの啓発資料編と学校行事等で教員が保護者に働きかけるための指導プログラム編で構成する家庭教育支援資料集について、学校等での活用を一層推進します。</p> <p>教育分野での社会貢献活動に取り組む企業と連携し、その取組をホームページ上で紹介するなど、家庭・学校・地域が一体となって、子どもたちを育てる環境づくりを推進します。</p> <p>夏休みなどを活用した学校外における体験活動の機会を、企業等と連携しながら提供します。</p> <p>1 夢チャレンジ体験スクール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サイエンススクール:研究機関等での観察・実験</li> <li>・ キャリア教育科学・先端技術体験キャンプ:企業・大学等での科学・技術体験、研究者へのインタビュー</li> <li>・ キャリア教育しごと体験キャンプ:職業人インタビュー、職場体験、大学レベルの講義等</li> </ul> <p>2 子ども参観日キャンペーン 子どもたちが親の働く姿に接することができるよう、企業等に「子ども参観日」の実施を働きかけるとともに、実施した企業をホームページ上で紹介するなど、企業等の参加を促進します。</p> <p>3 キャリア教育啓発資料 保護者向けの啓発リーフレットを配布し、キャリア教育を推進します。</p>

主要事業名	事業の内容
<p>高等学校と大学との連携の促進</p>	<p>県内の大学・短期大学の高大連携に関する取組予定を調査し、ホームページに掲載するなど、高等学校が高大連携に取り組みやすい環境の整備を図ります。</p>
<p>さわやかちば県民プラザにおける生涯学習の推進 169,434千円</p>	<p>本県の生涯学習の振興を図るための「生涯学習センター」及び芸術文化活動の振興を図るための「芸術文化センター」の機能を持つ「さわやかちば県民プラザ」において、次の事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報収集・提供事業 生涯学習情報を収集、管理する「千葉県生涯学習情報提供システム（ちばりすネット）」をとおして「学習・イベント情報」「講師情報」「団体・サークル情報」の3分野の生涯学習情報を提供します。</li> <li>・ 学習・研修事業 県・市町村行政職員をはじめ、教職員、生涯学習団体のリーダー等を対象とした生涯学習研修事業や、県民への学習機会の提供、現代的課題や広域的な学習環境の整備を図るための各種事業を実施します。 上記以外にも、生涯学習相談事業・千葉県体験活動ボランティア活動支援センター事業のほか、文化・創作、交流、調査・研究等の事業を行います。</li> </ul>
<p>E S C O事業の実施 17,278千円</p>	<p>地球温暖化防止対策の県の率先的な取組の一つとして、「さわやかちば県民プラザ」において、省エネルギー改修による二酸化炭素排出量の削減と光熱水費の削減に効果のあるE S C O事業を運用します。</p>
<p>子どもの読書活動推進事業 1,000千円</p>	<p>「千葉県子どもの読書活動推進計画（第二次）」に基づき、子どもの読書環境の整備を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発達段階に応じた保護者向け読書活動啓発リーフレットの配付</li> <li>・ 「子どもの読書活動啓発の集い」の開催</li> <li>・ 「公立図書館と学校の連携を図るための研修会」の開催</li> <li>・ 「乳幼児への絵本の読み聞かせボランティア養成講座」の開催</li> </ul>
<p>県立図書館サービスの充実 364,483千円</p>	<p>「千葉県立図書館の今後の在り方」に基づき、専門書や学術雑誌などを中心とした整備や蔵書の管理・検索システムの運用、市町立図書館等への図書への配送、各種研修・講座の開催等、県民の多様なニーズに応えられるよう、図書館サービスの充実を図ります。</p>
<p>中央図書館耐震改修等整備事業</p>	<p>昨年度に実施した改修計画事前調査の結果を踏まえ、耐震改修工事等の整備内容の検討を行います。</p>
<p>メディア教材開発事業 144千円</p>	<p>社会教育や学校教育に関する各種メディア教材の開発作品を県民から広く募集し、学習成果発表の機会を設けるとともに、各種の生涯学習講座・研修会や授業での積極的な活用を図ります。</p>
<p>視聴覚教育指導者研修事業 121千円</p>	<p>視聴覚機器・教材の活用について専門的な研修を行い、指導者の育成を図ります。</p>

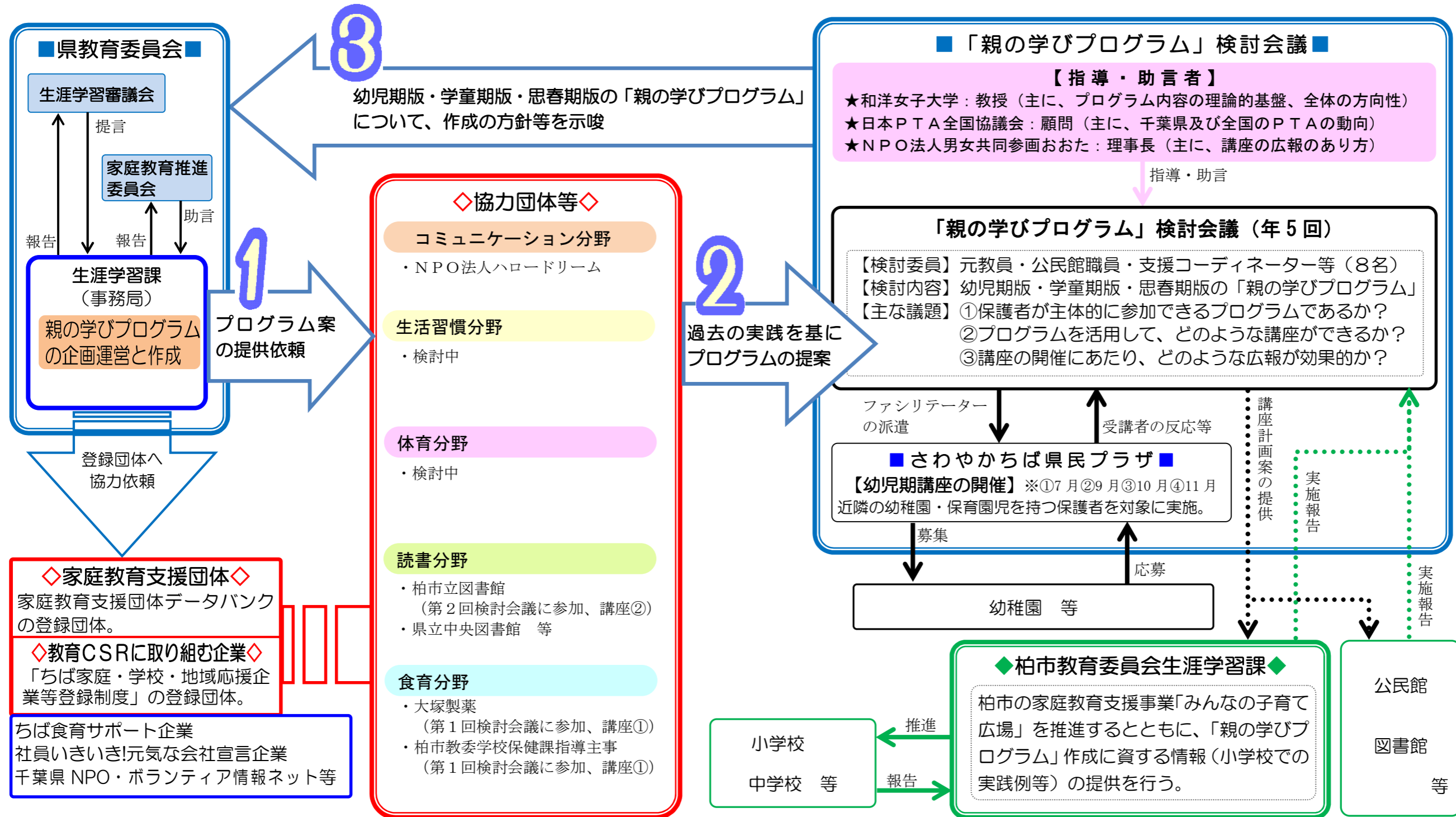


主 要 事 業 名	事 業 の 内 容
社会教育主事講習等研修 受講促進事業	社会教育主事の配置促進と有資格者の増加、社会教育に携わる職員 の資質向上を図るため、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター で実施される社会教育主事講習への、公立学校教職員等による受講 を促進します。
社会教育関係団体の支援 883千円	社会教育充実・振興のため、社会教育関係団体への助成により支援 します。
青少年教育施設における 自然体験・生活体験活動の 推進 447,025千円	青少年教育施設において、宿泊を伴う団体生活を通じて、自然体験 や生活体験等、子どもの自主性をはぐくむ機会を提供し、青少年の 健全育成を推進します。 ・「週末ふれあい推進事業」として、各施設の立地条件や機能を 生かし、週末に高齢者や親子のふれあい体験のできる事業を企画・ 実施し、併せて子ども会等の地域の指導者養成を行います。
防災キャンプ推進事業 3,000千円	未曾有の被害をもたらした東日本大震災を受け、各地域において想 定される災害や被災時の対応等の理解、学校等を避難所とした生活体 験などの防災教育プログラムを実践する防災キャンプを実施すること により、防災教育の観点に立った青少年の体験活動を推進します。 ・防災キャンプ「生活体験学校」の実施 ・防災キャンプフォーラムの開催
通学合宿推進事業	子どもたちの自主性や協調性を伸ばし、「生きる力」をはぐくむと ともに、公民館等を利用し地域で子どもを育てる機運を醸成する「通 学合宿」について、全県的な取組に広がるよう推進します。
体験活動指導者養成事業	県立青少年教育施設の持つ豊かな自然環境の下、経験豊富な自然体 験活動実践家を講師としたセミナーを実施し、青少年の体験活動の 普及拡大を図るとともに、青少年教育施設を核とした、青少年が安全 安心な体験活動ができる環境を整備します。
社会人権教育指導研修事業 891千円	1 社会人権教育指導者の養成 市町村職員及び社会教育関係者に対する人権教育を推進し、社会 人権教育指導者の養成を図ります。 ・社会人権教育指導者養成講座 年4回開催 ・社会人権教育地区別研修会 5会場で開催 ・社会人権教育中央研修会 2 社会人権教育資料を刊行します。
人権教育促進事業 7,517千円	県民の自主的・組織的活動を促進し、教育文化の向上を図り、人権 が尊重された社会をつくるため、人権教育推進員を選任し、人権教育 に関する各種啓発活動や相談事業を実施します。

# 「親の学びプログラム」活用事業の全体イメージ～つながる・育つ・広がる～

「親の学びプログラム」活用事業とは…幼児から高校生の子どもを持つ保護者を対象にした家庭教育に資するプログラムを開発し、その内容や開発の手法を各市町村に普及する事業

## 「親の学びプログラム」作成のプロセス(H25)



湖・普及 (H26)

☆ファシリテーターの養成及び市町村への普及  
☆各市町村における「親の学びプログラム」の活用推進

# すごろくトーク〔食育編〕

**活動の様子** (1グループ 3~4人程度)

うちでは、タケノコを粗く切って肉団子にして揚げてやると喜んで食べますよ。

「タケノコを使って、子どもが喜ぶ料理を3つ」と言われると、意外に思いつかないものね。

うちの子は、タケノコって、なかなか食べようとしなくて、どちらかというと私も苦手です…。

**【準備物等】**

- ・すごろくシート (各班1)
- ・さいころ (各班1)
- ・コマ (各班人数分)
- ・マイク (必要に応じて)

**保護者の願い・思い**

- 我が子の好き嫌いをなくしたい。
- 他の家の子の食生活の状況を聞いて、学んだり、安心したりしたい。 など

**このプログラムのねらい**

- ◎我が家の食生活・食育について、様々な角度から振り返ることができる。
- ◎他の家の様子などを聞き、食事のさせ方などについて、新たな気づきを得られる。

**主な流れ** すごろくをしながら、食生活・食育について話し合います。

①「すごろくシート」を見ながら、「すごろくトーク」のルールを知る。

**ルール**

- ・じゃんけんで勝った人から順に、時計回りでさいころをふる。
- ・出た目の数だけコマを進め、そのます目にあるテーマ「子どもが喜ぶタケノコを使った料理を3つ挙げよ」などについて、さいころをふった人が考え、話す。
- ・コマがゴールにたどり着いたら終了。(※他のグループの様子を見て、時間内であれば、再チャレンジすることも可能)

②「すごろくシート」を使って、グループ別に活動する。

③全てのグループがゴールしたら(予定の時間がきたら)、各グループで一番盛り上がったテーマと答えについて、発表し合う。

**活動のポイント** 節目ごとに拍手をして、明るくテンポよく進めましょう

- ②では、一つのます目のテーマが終わるたびに、グループ内で拍手をすると雰囲気は和らぐだけでなく、テンポがよくなります。
- ③では、グループの発表が終わるたびに、聞き手全体で拍手をするだけでなく、発表内容について共感や驚きの反応を、発表者に伝わるように表現しましょう。

## ★ファシリテーター(進行役)の役割

時間	ファシリテーターの言葉や動き(例)	受講者の反応等
【準備】	※「すごろくシート」、サイコロを各グループの机の上に一枚ずつ配る。 ※可能であれば、左ページを拡大し、見えるように掲示する。	
【はじめ】 (3分)	①「すごろくトーク」のルールや活動全体の説明をする。 さいころをふって、出た目の数だけコマを進めましょう。コマが止まったます目を書いてあるテーマについて、さいころをふった人が考えて話しましょう。最後に、どんなテーマについて、どんな答えが出たかなどをお聞きしますから、よく聞いておいてくださいね。	
【なか】 (12分)	②「すごろくシート」を使って、グループ別に活動を始めさせる。 じゃんけんで勝った人から順に時計回りで進めます。終わりの時間は、この時計で0時0分です。もしも早く終わったら、もう一度スタートから始めてもいいですよ。 質問がないようでしたら、始めます。 ※説明が行き届いていない場合があるため、まず全体を見て、全てのグループで活動が始まったことを確認する。 ※次に、グループ間を笑顔で回りながら、「なるほど」「すごい」などの肯定的な言葉をかけていく。 ※グループからの質問などについては、できるだけ端的に答え、活動の妨げにならないように気をつける。	
【おわり】 (5分)	③終了時刻の1分前に予告をし、終了時刻がきたら合図する。グループ別に発表させた後、活動全体を振り返らせる。 いかがでしたか?どのテーマが一番盛り上がったでしょうか。または、どなたのどんな答えが印象に残ったでしょうか。グループのこの位置に座っている人に、発表してもらいます。では、1班からお願いします。どうぞ。 ※終始明るく、笑顔で進め、発表が終わるたびに、率先して拍手をする。自分なりの短い感想なども添えてもよい。 今回のような内容は、普段あまり考えないことかもしれませんが、こうして改めて考えてみたり、他の方の考えなどを伺ったりしたことで、食に対する見方も広がったのではないのでしょうか。	
<b>こうすればもっとよくなるかも(別案等)</b> ~実施してみて、思いついたアイデアなど~		

★講座の中で知り得た個人情報、この場限り。他人にもらしてはいけません!(周知徹底を図ること)



# スタート

パスもOKです

好きな食べ物を  
3つ紹介して

子どもが喜ぶ  
タケノコを使  
った料理を3  
つあげて

朝ごはんは、  
いつも何分で  
食べてる？

# 2コマ 進む

今まで食べた物  
で、一番おいしか  
ったものは？

どうしても料理  
したくない時は  
どうしてる？

今日の晩ごはん  
何にする？

電子レンジを使  
った料理で、一番  
のおすすめは？

ごはんとパン、  
どっちが多い？

理想的な  
お弁当メニュー  
は？

# ゴール



スナック菓子っ  
て、食べさせて  
る？

理想的な  
朝ごはんとは？

あなたの  
得意料理は何？

月に何回、外食  
してますか？

子どもの食事で  
一番気をつける  
べきことは？

食事の後片付け  
は、誰がしてる？

自分の苦手な  
食べ物をあげて

# 2コマ 進む

人生の最期に  
食べたい昼食  
は？

子どもが苦手な  
ものを食べさせ  
るコツ

子どもの歯がぬ  
けたらどうして  
る？

# 2コマ もどる

# 議事資料

## (1) 平成25年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について

- ・平成25年度社会教育関係団体に対する補助金の  
交付について（諮問）
- ・平成25年度社会教育関係団体に対する補助金について（案）
- ・社会教育法抜粋

### ○別添資料

- ・平成25年度社会教育関係団体補助金交付申請に関する資料

## (2) 県立青少年教育施設の今後の在り方について

### ○別添資料

- ・「県立青少年教育施設の今後の在り方」検討資料
- ・「県立青少年教育施設の今後の在り方」検討の経緯（概要）

教生第264号

千葉県社会教育委員会会議議長 様

平成25年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について（諮問）

このことについて、社会教育法（昭和24年法律第207号）第13条の規定により、別紙のとおり諮問します。

平成25年7月3日

千葉県教育委員会



平成25年度社会教育関係団体に対する補助金について(10団体) (案)

番号	団体名	代表者名	補助対象事業	補助金額 (円)
1	日本ボーイスカウト 千葉県連盟	鈴木 國夫	・広報紙「スカウトちば」の発行	109,000
2	一般社団法人ガール スカウト千葉県連盟	興石 治子	・千葉ギャザリング ・チャレンジブラウニー	109,000
3	一般社団法人千葉県 子ども会育成連合会	篠崎美津男	・「ちば県子連」発行	214,000
4	日本海洋少年団千葉 県連盟	安田 敏弘	・夜行軍(オリエンテーリング)	44,000
5	千葉県連合婦人会	飯田 和子	・第58回千葉県生活者大会	89,000
6	千葉県PTA連絡協 議会	高橋 秀典 (齋藤匠)	・第37回千葉県PTAバレーボール大会	122,000
7	千葉県高等学校PT A連合会	高橋 孝宏 (小高正之)	・「ちば高P連だより」発行	64,000
8	千葉県国公立幼稚園 PTA連絡協議会	細谷 喜子 (黒田哲也)	・「第51回千葉県国公立幼稚園PTA 研究協議会 九十九地区東金大会報告 書」発行	44,000
9	千葉県特別支援学校 PTA連合会	佐藤 裕美	・「県P連会報」発行	44,000
10	千葉県ユネスコ協会 連絡協議会	橘内 忠成 (遠藤重勝)	・「ユ協連ニュース72号」発行 ・「ユ協連ニュース73号」発行	44,000
	合 計			883,000

※会長名は、各団体の事業計画書提出時のものです。( )内は、その後、新会長になった方です。

## 社会教育法（抜粋）

（社会教育関係団体の定義）

第10条 この法律で「社会教育関係団体」とは、法人であると否とを問わず、公の支配に属しない団体で社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とするものをいう。

（審議会等への諮問）

第13条 国又は地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ国にあつては文部科学大臣が審議会等（国家行政組織法（昭和23年法律第120号）第8条に規定する機関をいう。第51条第3項において同じ。）で政令で定めるものの、地方公共団体にあつては教育委員会が社会教育委員の会議（社会教育委員がおかれていない場合には、条例で定めるところにより社会教育に関する補助金の交付に関する事項を調査審議する審議会その他の合議制の機関）の意見を聴いて行わなければならない。